

塩・アルカリストレス下におけるイネの養分蓄積とカリウム獲得機構に関する分子生理学的解明

Molecular physiological study on nutrient accumulation and potassium acquisition mechanisms in rice under saline-alkaline stress

【概要】

乾燥地や半乾燥地を中心に広がる塩類土壌は、イネなどの作物の生産性を著しく減じる環境要因である。中でも、炭酸塩を多く含む塩類土壌では、イネは塩・アルカリストレスの影響を受けるため、その栽培は極めて困難である。塩・アルカリ土壌で安定したイネ生産を実現するためには、イネの塩・アルカリストレス耐性機構の理解や、新たな塩・アルカリ耐性イネ栽培品種の作出が求められている。本研究では、塩・アルカリ耐性イネ品種作出のための基盤構築を目的に、塩・アルカリストレス下におけるイネの養分蓄積とカリウム獲得機構に着目して研究を行った。

発表者：南平眞実

日時：2024年1月23日 14:00～

場所：生物生産学部 C301